

提案書評価基準

1 基本的評価事項

評価項目 (配点)	評価事項	配点	評価基準		
			A	B	C
予定技術者の経験及び業務実施能力 (30)	同種又は類似業務の実績 (管理技術者)	10	高度かつ豊富な実績がある	実績がある	実績がない
	同種又は類似業務の実績 (担当技術者)	10	高度かつ豊富な実績がある	実績がある	実績がない
	業務実施体制 管理技術者と担当技術者が配置されているか	10	技術者をサポートができる十分な配置がされている	配置されている	配置されていない
業務実施方針 (30)	業務の理解度 業務に係る課題認識が適切かどうか	15	的確に理解しており検討が十分	課題を理解している	課題をよく理解していない
	業務実施方針の実現性 業務内容を把握し、実現可能な実施フローとなっているか	10	業務内容を十分に把握し、実現可能な実施フローとなっている	業務内容を把握し、実現可能な実施フローとなっている	妥当でない
	工程計画の妥当性 業務量を把握し、妥当な工程計画か	5	十分検討されており妥当な工程計画である	妥当な工程計画である	妥当な工程計画でない
課題に対する提案 (40)	提案内容の的確性 課題に対する考え方と改善の視点が的確であるか	20	特に優れている	妥当である	妥当でない
	提案内容の親和性 横浜や市営地下鉄の特徴を踏まえた提案である	20	特に優れている	妥当である	妥当でない

2 評価方法

- (1) 各評価項目について、A、B、Cの3段階評価を行うことを基準とする。
- (2) 評価は各項目5点満点とし、A=5点、B=3点、C=0点とする。
 例えば、表1において配点10点の項目の場合
 評価がAであれば $10 \times 5 / 5 = 10$ 点
 評価がBであれば $10 \times 3 / 5 = 6$ 点
 評価がCであれば $10 \times 0 / 5 = 0$ 点
- (3) C評価のあるものは原則として特定しない。

3 第一順位の決定方法

- (1) 出席委員の評価点数の合計が最も高い提案を第一順位とする。
- (2) 出席委員の評価点数の合計が最も高い提案が複数あるときは、「課題に対する提案」の合計点数が最も高い提案を第一順位とする。「課題に対する提案」の合計点数が同点の場合は、「業務実施方針」の合計点数が最も高い提案を第一順位とする。